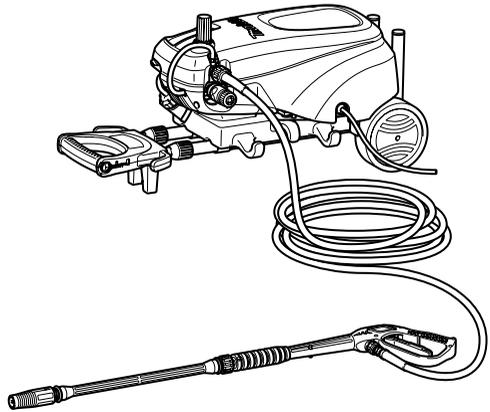


Makita

取扱説明書

高圧洗浄機

☐ モデル MHW720



二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**高圧洗浄機**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 各部の名称および標準付属品	8
・ 別販売品のご紹介	9
・ 使い方	11
・ 標準付属品の収納	11
・ スイッチの操作	12
・ 可変ノズルの切り替え方	14
・ 圧力調整ノブの使い方	15
・ 洗剤を混入しての使い方	15
・ 別販売品のご紹介	16
・ 溜水を使用する場合	16
・ サイクロンジェットノズル	16
・ 回転ブラシキット	17
・ サンドブラストキット	17
・ パイプクリーニングホース（長さ 8m）（ノズル付）	17
・ 保守・点検について	18
・ ノズル穴の清掃について	19
・ 吸い込みフィルタのチェックについて	19
・ 長期間保管する場合	19
・ 本機のお手入れ	19
・ ご修理の際は	19

主要機能

主要機能	モデル	MHW720
電動機		直巻整流子電動機
電圧		単相交流 100 V
電流		15 A
周波数		50-60 Hz
消費電力		1,430 W
最大水量		7 L/min
最大吐出圧		7 MPa (71 kgf/cm ²)
最高給水温度		60 °C
最大吸い上げ高さ		1 m
本機寸法		長さ 390 mm × 幅 350 mm × 高さ 750 ~ 940 mm
コード		2.5 m
質量		16 kg

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の **警告** ・ **注意** ・ **注** の意味について

ご使用上の注意事項は  **警告** と  **注意** ・ **注** に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

安全上のご注意

JPB160-6

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. **感電に注意してください。**
 - ・ 高圧洗浄機を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. **子供を近付けないでください。**
 - ・ 作業員以外、高圧洗浄機やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近付けないでください。
5. **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. **コードを乱暴に扱わないでください。**
 - ・ コードを持って高圧洗浄機を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。
7. **無理な姿勢で作業をしないでください。**
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
8. **高圧洗浄機は、注意深く手入れをしてください。**
 - ・ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
9. **次の場合は、高圧洗浄機のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。**
 - ・ 使用しない、または修理する場合。
 - ・ その他危険が予想される場合。

⚠ 警告

10. 不意な始動は避けてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・ 高圧洗浄機を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・ 疲れている場合は、使用しないでください。

13. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動および停止操作のできない高圧洗浄機は、使用しないでください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

<異常・故障例>

- ・ 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・ 電源コードに深いキズや変形がある。
- ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
- ・ 焦げくさい臭いがする。・ピリピリと電気を感じる。
- ・ スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

14. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

15. 高圧洗浄機の修理は、専門店にお申し付けください。

- ・ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

16. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

- ・ 表示を超える電圧で使用すると、運転速度が異常に高速となり、けがの原因になります。

17. 噴射口を人や動物に向けないでください。

- ・ 高圧水が噴射し、けがの原因になります。

⚠ 警告

18. 可燃性液体、その他不適當な液体を使用しないでください。
 - ・ 事故または故障の原因になります。
 19. 車のタイヤまわりを洗淨するときには、ノズル先端から最低 30 cm 以上離して洗淨してください。
 - ・ 接近しすぎた場合、タイヤやブレーキを損傷させ、重大事故の原因となる場合があります。
 20. 本機、コード、コンセントなどに水がかからないようにしてください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
 21. 高圧ホースの定期点検を行ってください。また、高圧ホースに損傷や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
 22. 濡れた手で電源プラグ、電源コンセントに触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。
 23. トリガガンを握った状態に固定しないでください。
 24. 高圧ホースを抜く前に、本機内圧を全て抜いてください。
 - ・ けがの原因になります。
 25. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
 26. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- この取扱説明書は、大切に保管してください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

⚠ 注意

1. 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 作業する際は、トリガガンとジョイント部を両手で確実に保持してください。
 - ・ トリガガンのみを片手で操作しますと反動で先端部がはね上がり、けがの原因になります。
3. 洗浄物のラベル類周辺へは、直接噴射をしないでください。
 - ・ 高圧水流により、ラベル類がはがれる原因になります。
4. 洗浄の対象物に損傷の可能性がある場合、目立たない部分で試してから使用してください。また、対象物とノズルの距離にも注意しながら慎重に作業を行ってください。
 - ・ 高圧水による破損やはがれの恐れがあります。
5. ホースやコードを腐食させるような洗剤は使用しないでください。

注

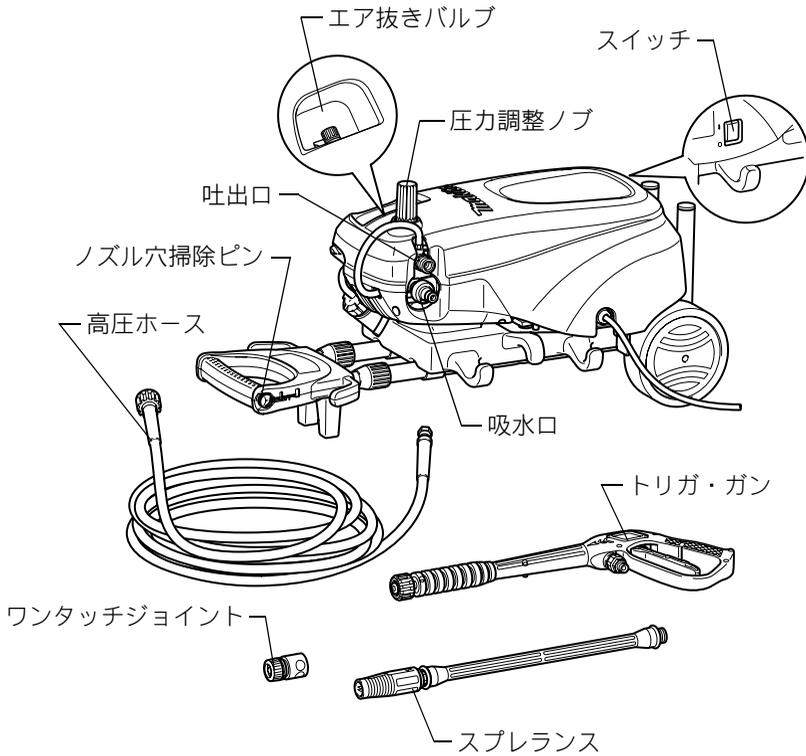
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～ 5 A	5 ～ 10 A	10 ～ 15 A
2.0 mm ²	50 m	30 m	20 m

- ・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ トリガ・ガン
- ・ 高圧ホース (7.5m)
- ・ スプレランス (可変ノズル付)
- ・ ワンタッチジョイント (本機側及びホース側)
- ・ ノズル穴掃除ピン

別販売品のご紹介

1. スプレランス (標準付属品)



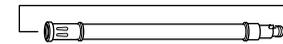
2. アンダーボディプレー



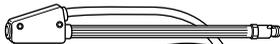
3. サイクロジェットノズル



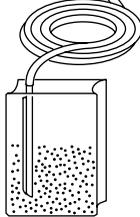
4. 回転ブラシキット



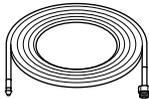
5. サンドブラストキット



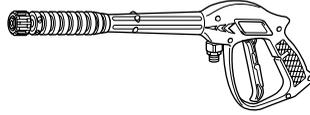
珪砂
(市販品)



6. パイプクリーニングホース



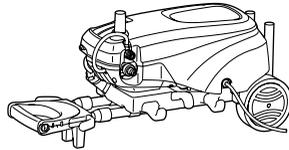
10. トリガ・ガン (標準付属品)



7. 高圧ホース
(7.5m (標準付属品)、16m)



* ホース継手
ホースとホース
を継ぐ場合に必要です。



市販の内径 15 mm
耐圧水道ホース

8. 吸水ホース
アッセンブリ
(ニップル付)



9. ストレーナ



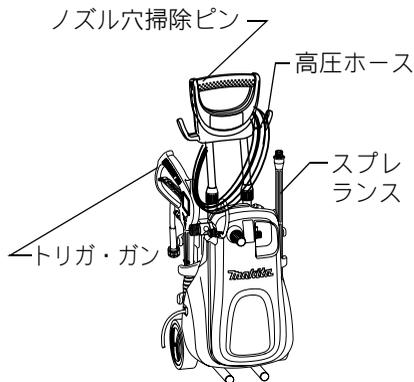
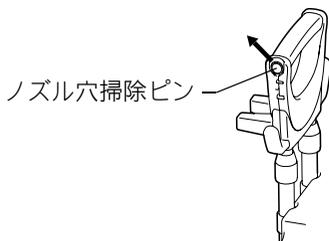
別販売品のご紹介

1. スプレランス (標準付属品) 長さ 510mm AR00040112
(ノズル: 緑色)
 2. アンダーボディスプレー AR00003391
 3. サイクロンジェットノズル AR00003383
水压を落とさずに噴射水流を回転させて、洗浄時間を大幅に短縮します。
 4. 回転ブラシキット AR00002842
 5. サンドブラストキット AR00003165
高圧水流に珪砂を混入させ、水だけでは落ちない錆やペンキ、海草落としも可能です。
 6. パイプクリーニングホース (8m) AR00003171 (16m) AR01344130
水流の逆噴射により、ホース先端部が自動的にパイプ内を進み、パイプ内を洗浄していきます。
 7. 高圧ホース
A) 7.5m AR01262443 (標準付属品)
B) 16m AR01262150
 8. 吸水ホースアッセンブリ SP00000151 (ニップル付)
吸水機能を利用して、溜水や屋外水槽の汲み上げポンプとして使用します。
吸水ホースの長さは 3 m です。
 9. ストレーナ SP04000034
- 注**
- ・ 溜水からの最大吸い上げ高さは 1 m です。
10. トリガ・ガン AR00040925 (標準付属品)
- ※ ホース継手 AR01122030

使い方

標準付属品の収納

- ・ 標準付属品は右図のように本機に収納することができます。
- ・ ノズル穴掃除ピンは図のように斜め上方にひっばって取りはずしてください。

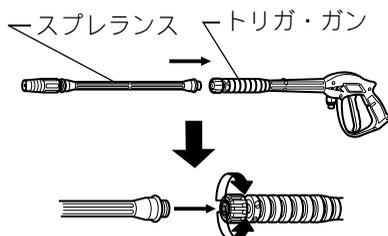
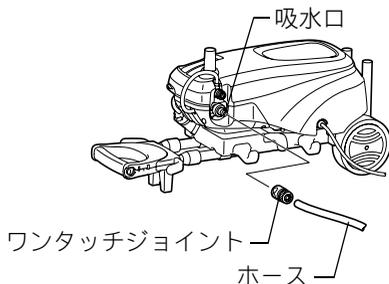


⚠ 警告

付属品の取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

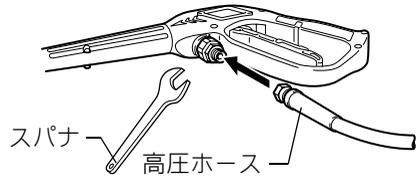
- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行なうと、事故の原因になります。

- ・ 市販の内径 15 mm 耐圧水道ホース (メッシュ入り) をご用意ください。
- ・ 水道ホースにワンタッチジョイントを接続します。
- ・ ワンタッチジョイントを本機の吸水口に取り付けます。
- ・ スプレランスをトリガ・ガンに取り付けてください。
- ・ スプレランスをトリガ・ガンに押し込みながら回します。

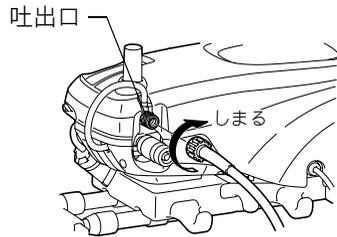


使い方

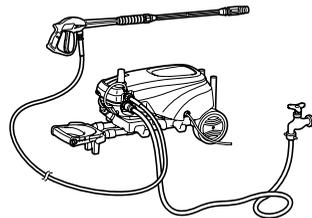
- ・ トリガ・ガンに高圧ホースを取り付けてください。(高圧ホースをトリガ・ガンに取り付けるときは、スパナなどで十分に締め付けてください。)



- ・ 高圧ホースのもう一方を本機の吐出口に取り付けてください。



- ・ 水道の蛇口にホースを差し込み、ホースのもう一方を本機の吸水口に接続してください。

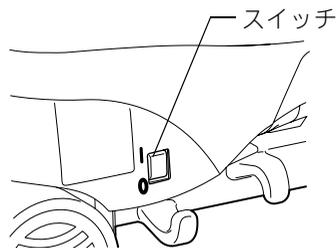


スイッチの操作

⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

- ・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし事故の原因となります。
- ・ スイッチはON (I) 側を押すと入り、OFF (O) 側を押すと切れます。



注

- ・ 始動前に水道の蛇口が全開にしてあるか確認してください。
- ・ 給水されていない状態で始動すると故障の原因になります。

使い方

⚠ 警告

使用する際は必ず本機を横（水平）にして置き、安定した状態で使用してください。

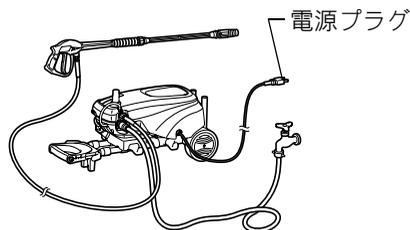
- ・ 故障や思わぬ事故の原因になります。

⚠ 注意

洗淨の対象物に損傷の可能性がある場合、目立たない部分で試してから使用してください。また、対象物とノズルの距離にも注意しながら慎重に作業を行ってください。

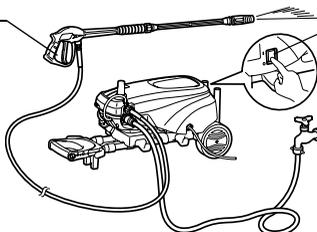
- ・ 高圧水による破損やはがれの恐れがあります。

- ・ 本機の電源プラグを交流 100 V 電源に差し込み、水道の蛇口を全開にしてください。



- ・ トリガ・ガンの引金を引き、エアの混じりがなくなるまで水を出してください。
- ・ トリガ・ガンの引金を引いた状態で、本機のスイッチを ON にしてモータを始動させてください。吐出圧を調整ノブで調整してください。
- ・ トリガ・ガンの引金を引かずに本機のスイッチを ON にすると、モータ保護装置が働きます。このときは 5 分以上待ったあと再度トリガ・ガンの引金を引いてから本機のスイッチを入れてください。

2. トリガ・ガンを引く



3. スイッチを入れる

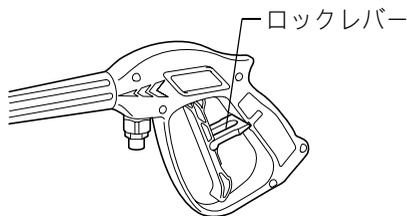
1. 蛇口は全開にする

注

- ・ トリガ・ガンの引金を離すとモータが停止する圧力スイッチが内蔵されています。再度引金を引くと再始動します。
- ・ 運転を中断するときは、本体のスイッチを切ってください。スイッチを切らずに放置した場合、自然減圧が生じ、何もしない状態で再起動する場合がありますが、異常ではありません。

使い方

- ・ トリガ・ガンをロックする場合は、トリガ・ガンの引金にあるロックレバーを倒してください。解除する場合は元に戻します。



注

- ・ トリガ・ガンの引金を引かずにモータを始動しないでください。
- ・ 故障の原因となります。

可変ノズルの切り替え方

- ・ 可変ノズルを右に回すとノズルのプレートが徐々に開き、直射となります。左に回すと閉じて拡散となります。

直射

- ・ よごれのひどい農機具のどろ落としなどに適しています。



直射



拡散

拡散

- ・ 外壁、バイク、お車の清掃に適しています。

高圧・低圧の切り替え

- ・ 可変ノズルを手前に引くと高圧、向こう側に押すと低圧になります。



注

- ・ 高圧・低圧の切り換えは、トリガ・ガンの引金をはなした状態で行ってください。
- ・ バイクやお車などにラベル、シールなどが貼ってある場合は十分注意してご使用ください。ラベル、シールの状態によっては、はがれる恐れがありますのでその部分は避けてご使用ください。

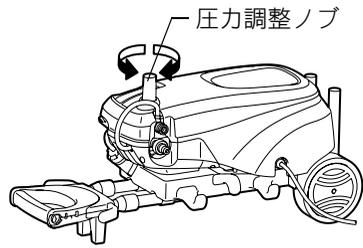
使い方

圧力調整ノブの使い方

- ・ 圧力調整ノブは右に回すと圧力は高くなり、左に回すと低くなります。

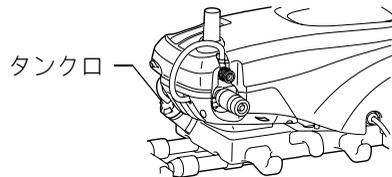
注

- ・ 圧力を極端に下げないでください。圧カスイッチ（トリガ・ガンの引金を離すとモータが停止する機構）が効かなくなる可能性があります。



洗剤を混入しての使い方

- ・ 洗剤を本機のタンク口から入れます。
- ・ 可変ノズルを噴射口側にスライドさせ、水圧が低くなる位置でトリガ・ガンを引くと、吐出水と洗剤が混合され噴射されます。



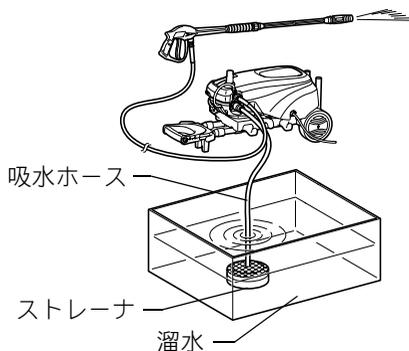
注

- ・ 洗剤を使用する場合は、スプレランスの水圧が低くなる位置で水圧を低くしてから、ご使用ください。高圧で使用しますと、洗剤を吸い上げません。
- ・ 洗剤は、中性洗剤を使用してください。アルカリ性及び酸性の洗剤は使用しないでください。

別販売品のご紹介

溜水を使用する場合

- ・ 溜水を使用する場合は吸水ホースを図のようにつなげます。
- ・ ご使用前に必ずエア抜きをします。エア抜きバルブを開いた後、スイッチをONにします。バルブより液体が出始めたら、必ず一度スイッチをOFFにし、モータが停止したのを確認してからバルブを閉じてください。
- ・ エア抜きバルブから液体がでないときは、1度スイッチをOFFにして吸水ホースを取りはずし、吸水口から水を少量入れてください。

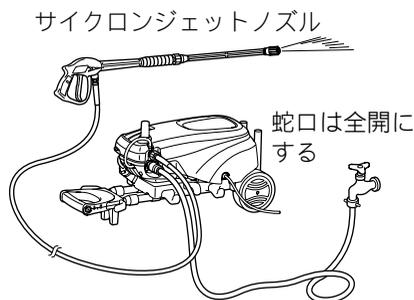


注

- ・ 川や池の水（砂などの混じった水など）は使用しないでください。故障の原因になります。
- ・ スイッチをOFFにせずにエア抜きバルブを閉じると破損する恐れがあります。
- ・ 吸水できる高さは1mまでです。

サイクロンジェットノズル

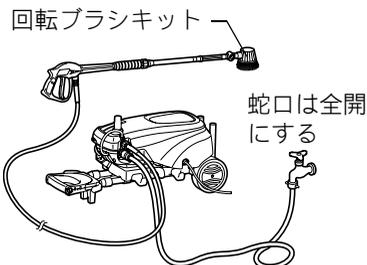
- ・ 細く絞り込まれた噴射口部分が高速回転するため、非常に効率よく洗浄することができます。
- ・ 洗浄時間の大幅短縮、最小限のはね返り、水量の大幅節減、洗剤の大幅節約など優れた特徴があります。
- ・ ミキサー車の生コン除去、重機や建機などの泥の除去、豚舎や牛舎の汚物処理に優れた洗浄力を発揮します。



別販売品のご紹介

回転ブラシキット

- ・ 車のボディやタイルなどを洗う場合は、洗剤を混入させて洗うことをおすすめします。
- ・ 水圧だけに頼る洗浄は塗装剥離や目地を傷めることがあります。洗剤使用後は洗剤が乾く前に、標準付属品のスプレランスを使用して洗い流してください。



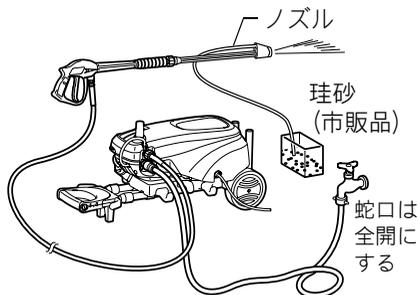
注

- ・ 使用後は清水で高圧ホース、ブラシ内を通水洗浄してください。

サンドブラストキット

- ・ 高圧水流に微細な珪砂を混入させ、水だけでは落ちない錆やペンキ、海藻落としなど、高圧水のみでは不可能であった洗浄作業に最適です。

サンドブラストキット
(ノズルが上に来るようにしてください)



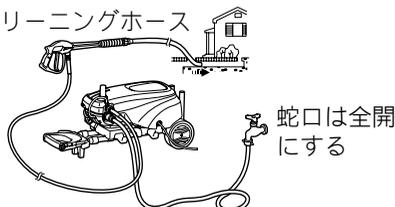
注

- ・ 使用する珪砂は5号が最適です。番手が4号より小さいものではノズルが詰まる恐れがあります。
- ・ 保護メガネをかけてください。
- ・ サンドブラストキット使用後は本機を停止させる前に必ず清水を通して、ノズルから珪砂を除去してください。

パイプクリーニングホース (長さ 8m) (ノズル付)

- ・ 水の逆噴射により、パイプ内を自走し洗浄します。

パイプクリーニングホース



注

- ・ 使用後はホースに付着した汚物を洗い落としてください。

保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜き、本機内圧を抜いた後、水道ホースをはずしてください。

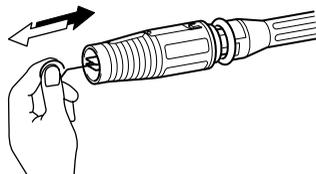
・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行くと、感電や事故の原因になります。

こんな時は	原因	対策
動かない	通電していない	コード、プラグ、コンセント、ヒューズに異常がないか確かめる。
	モータ保護装置が作動	使用電源の電圧降下がないか。つなぎコードの太さ、長さが指定範囲内であるか確かめる。
	電気回路の故障	当社営業所へ。
水圧が上がらない	ポンプが空気を吸込む	吸水ホースをチェックする。 水道水の流量を増やす。
	吸い込みフィルタが詰まった	フィルタを清掃する。(P19 参照)
	本機内に空気が残留	1 度スイッチを切り、トリガ・ガンの引金を握ったままの状態、再びスイッチを入れる。
	ポンプの故障、異常開放弁の故障 磨耗	当社営業所へ。
水の出方が一定でない	ノズルの詰まり	ノズル先端をノズル穴清掃ピンでつついて直す。
	給水が充分に行われない	フタのある容器から吸い上げている場合はフタをはずす。吸水ホースをチェックする。水道水の流量を増やす。
	給水温度が高すぎる	水温を下げる。
	高圧開放弁の調整不良	当社営業所へ。
洗剤を吸込まない	洗剤フィルタ目詰まり	タンク口から洗剤フィルタを取り出して、洗剤フィルタを掃除する。
	ノズルの詰まり	ノズル先端をノズル穴清掃ピンでつついて直す。
	可変ノズルが高圧側になっている	可変ノズルを低圧側にする。
異音がする	ポンプの温度が高すぎる	水温を下げる。
	ポンプに空気が入っている	吸水口と吐出口を調べる。
オイルが漏れる	オイルシールが摩耗している	当社営業所へ。
	Oリングが摩耗している	当社営業所へ。
モータ音はするがポンプが始動しない	使用コードの太さ（公称断面積）が小さい、または延長コードが長すぎる	使用コードの太さと最大長さを取扱説明書で調べる。(7 ページ参照)

保守・点検について

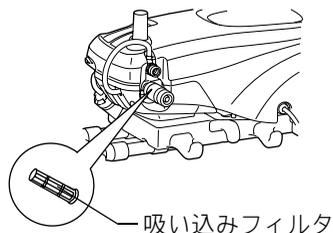
ノズル穴の清掃について

- ・ ノズル穴が詰まらないようにピン（標準付属品）で定期的に清掃してください。



吸い込みフィルタのチェックについて

- ・ 本機が正常に働く様に、フィルタは常にきれいに保ってください。フィルタが詰まると、ポンプの力が落ち水圧が低くなります。



長期間保管する場合

- ・ お使いになったあとは、早目にお手入れを行ってください。お手入れが不十分ですと次にお使いになる時に目詰まりをおこし、噴射量が低下したり故障の原因となります。
- ・ 本機および各種付属品は清水を通して洗浄したのち、給水を止め、トリガ・ガン（Trigger Gun）を握りながらスイッチを入れ、水の噴出がなくなるまで空運転してください。（空運転は2分以内としてください。）あとは乾いた布で水気を拭いてください。特に冬期に水が入ったまま放置しておきますと、凍結して故障の原因となります。
- ・ 凍結が予想される場合は不凍液を自吸させてください。
- ・ 直射日光や雨水を受けない場所に保管してください。

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

882294E7

NNP

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)